

令和 6 年度 学校運営協議会評価報告書 1

鳥取県立八頭高等学校
校長 岡田 優

評 価 日	令和 6 年 7 月 1 6 日 (火)
評価・提言	学校の所見・改善策
1 目標設定について ○特記事項なし。 2 評価項目と目標達成のための取組について ○生徒がいかに授業へ真剣に向かうかが重要であるが、以前授業を見学したとき、寝ている生徒がいくらか見受けられた。授業で寝てしまうことは、「一生懸命授業準備をしている先生に対して失礼である」という言い方をすれば、教員側の授業改善にもつながるのではないかな。 ○毎日朝食を摂っている生徒の割合は多いが、何を食べているかも重要である。食事を改善していくと、授業で眠くならないという結果がある。集中力を高めるためには、生活習慣と朝食が重要である。 ○部活動の推進も大切であるが、部活動ではない個人の活動（コンクールや発表活動など）についても取り上げて応援すれば、生徒の活力につながっていくのではないかな。 3 具体目標について ○特記事項なし。 4 目標達成のための具体方策について ○授業改善の取組について、Chromebook を家庭では使っている様子が見られないが、学校の授業では利用しているだろうか。 5 その他 ○鳥取大学でも、子どもたちが地域を好きになり、地域に定着するような取組を行っている。現在は、探究活動で連携しているが、今後はいろいろと拡げていきたい。 ○「時間外業務の縮減」は永遠の課題である。先生が身体を壊してしまわないように、一部の先生に業務が偏ることのないよう分担できるのがよい。 ○学校で起きている問題について、可能な範囲で生徒に説明してほしい。その積み重ねが生徒との関係構築につながっていくと思う。必要に応じて、保護者にも情報発信・共有してもらいたい。 ○在校生が「八頭高に来てよかった」と言えば、その弟妹も八頭高へ行きたくなる。学校説明会では八頭高をPRし、「八頭高をもっと知りたい」と思わせるような場としてほしい。	→当然、生徒には寝ないように指導しており、先生方は起こすようにしているが、同時に生徒が寝てしまうことがない授業の工夫も求めている。 →そのようにしていきたい。 これまでも、俳句や絵画のコンクールに応募して入賞した生徒については、伝達表彰し学校HPにも上げるようにしている。 →授業では利用していることが多い。ただ、教員によって活用頻度は違っており、今後は高いスキルを持った教員による研修会をもち拡げていきたい。 →鳥取大学との連携は大切にしたい。今後も引き続きお願いしたい。 →問題にもよるが、その都度慎重に検討したい。